

2021年度 事業報告書

2021年4月1日～2022年3月31日

学校法人武田学園
専門学校ビーマックス

I. 学校の概要

1. 学校の教育方針

- 就職内定獲得を最終目標とせず、社会で活躍する人財になることを最終目標と見据えて指導を行う
- 夢をかなえるためのカウンセリングと個性に応じた指導を行う
→PSA パーソナリティ診断（気質・性格診断）、個人・三者面談の随時実施
- 困難な状況でも、折れない、諦めない心を養う指導を行う
→レジリエンス向上プログラム
- 「やり方（テクニック）」習得に偏重せず、「あり方（どうあるべきか）」を心掛けるように促す指導も行う
- コミュニケーション力と問題発見力、問題解決力を身につけるための指導を行う
→挨拶、掃除の精度向上、学友会活動等（＝学生同士で討論できる機会の提供）
- 自律する力、自ら考える力、行動する力、感謝する心を養う指導を行う
＝ 教え過ぎない、与え過ぎない
→セルフマネジメント、履修状況報告書
- 基礎的な学力向上・体力向上に向き合う指導を行う
→基礎学力向上プログラム、卒業必須資格（全学科共通：ビジネス能力検定、漢字能力検定、MOS）、トレーニングジム〈ミライアス〉の有効活用、部活動の推進
- 実践型・体験型プログラムを通して実践力を身に付けられるように指導する
→インターンシップ、社会貢献プログラム、ヒューマンスキルプログラム

2. 学校法人の沿革

- 1978年 個人立 『経理学校 岡山会計学館』を設立
- 1981年 『岡山会計学館経理専門学校』として専修学校認可
- 1985年 ビジネス本科に県下唯一の公務員ビジネスコース設置
- 1989年 学校法人武田学園設立認可
- 1995年 専門士認定校に指定
- 1997年 校名を『専門学校ビーマックス』へ変更
- 2001年 文部科学省「専修学校 IT フロンティア教育推進事業」研究校
- 同年 心の知性教育をベースとした「ヒューマンスキルプログラム」を開始
- 2002年 文部科学省「専修学校社会人キャリアアップ教育推進事業」研究校
- 2003年 文部科学省「専修学校先進的教育研究開発事業・学生ケアシステム化」研究校
- 2009年 生涯学習センター開設
- 2010年 キャリア支援センター開設
- 2017年 トレーニングジム〈ミライアス〉開設

3. 設置する学科・コースと総定員（2022年4月1日現在）

学科	コース・専攻	修業年限	総定員	性別
エ ア ラ イ ン	エアライン	2年	40	男女
ブ ラ イ ダ ル ・ ホ テ ル	ブライダル・ホテル	2年	40	男女
メ ディ カ ル ス タ ッ プ ビ ジ ネ ス	メディカルスタッフ	2年	20	男女
公 務 員	公務員ビジネス	2年	120	男女
	公務員	1年	20	男女

4. 学生数の状況について（2021年5月1日現在）

学科	コース・専攻	1年	2年	計
エアライン	エアライン	17	13	30
ブライダル・ホテル	ブライダル・ホテル	16	15	31
メディカルスタッフビジネス	メディカルスタッフ	6	6	12
公務員	公務員ビジネス	73	38	111
	公務員	23	-	23
計		135	72	207

5. 役員・評議員の概要（2022年4月1日現在）

理事：7名

監事：2名

評議員：15名

6. 役員名簿（2021年4月1日現在）

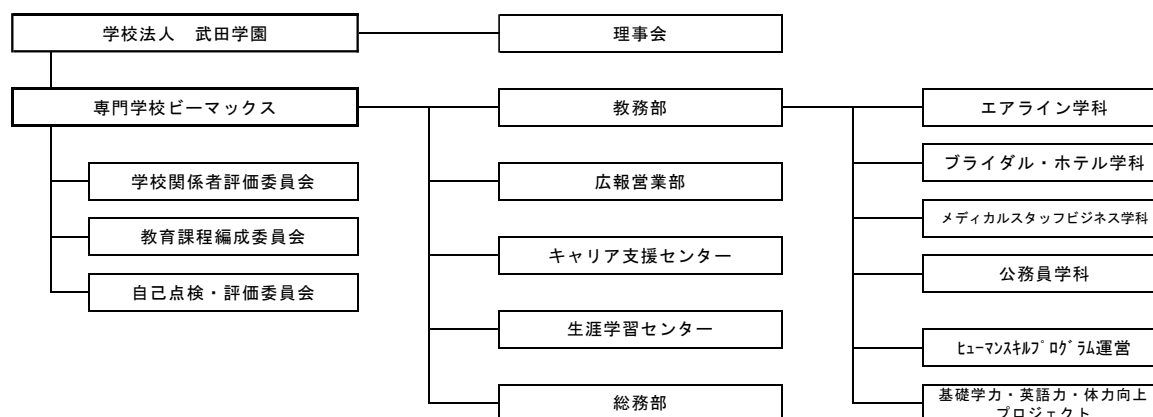
理事長 武田 結幸 常勤
 理事 横田 悟 常勤
 理事 武田 知子 常勤
 理事 岩城 孝男 非常勤
 理事 上月 健輔 非常勤
 理事 逢沢 一郎 非常勤
 理事 本谷 伸一郎 非常勤
 監事 那須 照正 非常勤
 監事 平松 俊男 非常勤

6. 教職員の概要（2022年4月1日現在）

教職員：20名

講師：23名

7. 組織図



II 事業の概要

1. 学習について

(1) 概要

- 2021年度は、コロナと共に過ごす学校生活2年目となった。学内で感染者が出た場合や、緊急事態宣言が発令された場合など、必要に応じてzoomを活用したオンライン授業を行い、授業自体の進行に大きな混乱は起きなかった。
- エアライン学科の新入生は、2021年度も岡山空港でのインターンシップが認められず、その代わりとして、岡山空港の職員による授業を年間通して行った。一方で、高松空港、徳島空港、広島空港では、学生の見学を受け入れて頂くことが出来、感染が落ち着いていた秋口には、博多への宿泊研修（福岡空港や外資系ホテルの見学及び説明会）も実施できた。
- エアライン学科の卒業年次生は、入学した2020年春からコロナ禍に突入、早い段階で就職志望先を航空業界以外へ切り替える学生も多かったため、2021年度よりカリキュラムに選択科目を導入。航空業界の専門科目以外に、本人の進路や学びたい内容に応じて、簿記や英会話を選択できるようにした。
まだ、航空業界と密接にかかわる観光業について学ぶカリキュラムを新導入。経済的に打撃を受ける地域観光を応援するためにも、オンラインツアーのプランニングを計画。企業様にご協力を頂きながら、学生自身で取材や動画撮影を重ね、8月にはANAクラウンプラザホテル岡山様に、お客様を招待してお披露目の会を開催した。
- ブライダル・ホテル学科の新入生は、2021年度も岡山県内と周辺地域（福山等）に地域を限定したインターンシップとなった。インターンシップでの学びを学生自身で振り返り、その成果と感謝をお伝えする「インターンシップ発表会」は、お世話になった企業のうち11社の方にお集まり頂くことが出来た（うち2社はzoomでのご参加）。
- ブライダル・ホテル学科 卒業年次生は、例年2月に集大成となる「模擬結婚式」を行っていたが、年度当初の時点で冬の感染状況が読めなかったため、8月にイベントを企画した。自分たち同世代の若者でも取り組める結婚式の在り方をテーマに、岡山国際ホテルにお客様をお招きして開催。会場、衣装、装飾・プロデュース、装花等で、多くの企業の方々にご協力を頂いた。※2022年2月の「模擬結婚式」の開催は取りやめた。
- 公務員学科の行政職や事務職を目指すクラスの学生たちで、日本遺産である「造山古墳」のボランティアガイドをすること、そして「造山古墳」を中核としたビジネス・観光プランを考えるとというプロジェクトが始動した。このプロジェクトの取り組みを、学生の代表者一人が「岡山イノベーションコンテスト2021」（専門学校生の部）に応募。コンテストとしては、二次審査まで進むことが出来た。
始動に関わった2年生は卒業していったが、これを同じく行政職や事務職を目指すクラスの新2年生、そして2022春に入学してきた新入生で引き継ぎ、継続していく。
- 地域貢献・社会貢献活動は、本校における学びの柱のひとつとして長らく掲げているが、2021年度も、活動の範囲や種類が限られてしまった。しかし、コロナとの付き合い方が徐々に見直されている中で、学生の活動を受け入れても良い、学生と一緒に何か活動をしたいと仰って下さる団体様もいてくださっている。2022年度は、感染対策に十分留意した上で、活動再開に力を入れる。

(2) 資格・検定の取得状況について

A：卒業年次生（2022年3月31日現在）※2年間の実績（退学者除く）

資格・検定名	国家資格	受験者数	合格者数
Microsoft Office Specialist Excel 2016 集計		90	74
ニュース時事能力検定 3級 集計		90	67
ビジネス能力検定ジョブパス 3級 集計		90	90
アマデウスシステム検定 Specialist(初級) 集計		13	9
サービス介助士 集計		28	28
ブライダルコーディネート技能検定 3級 集計	✓	15	14
ホテルビジネス実務検定試験 ベーシックレベル2級 集計		15	13
マナー・プロトコール検定 3級 集計		29	29
医師事務技能審査試験（医科） 集計		5	5
医師事務作業補助技能認定試験 集計		5	5
医薬品登録販売者 集計	✓	5	2
介護事務管理士技能認定試験 集計		5	5
診療報酬請求事務能力試験 集計		5	2
文章読解・作成能力検定 3級 集計		5	5

B：1年生（2022年3月31日現在）※公務員コースは卒業年次生に含む

資格・検定名	国家資格	受験者数	合格者数
Microsoft Office Specialist Excel 2016 集計		38	25
ニュース時事能力検定 3級 集計		97	58
ビジネス能力検定ジョブパス 3級 集計		97	84
アマデウスシステム検定 Specialist(初級) 集計		16	13
サービス介助士 集計		16	16
マナー・プロトコール検定 3級 集計		32	30
医師事務技能審査試験（医科） 集計		6	6
介護事務管理士技能認定試験 集計		6	6
薬学検定試験 3級 集計		6	5
文章読解・作成能力検定 3級 集計		6	6

2. 卒業年次生の就職・内定状況について

◇コース別内定者数一覧（2022年3月31日現在）

コース	希望者数	内定者数	学内編入	備考
エアライン	13	13	-	
ブライダル・ホテル	15	15	-	
メディカルスタッフ	4	4	-	

公務員ビジネス	31	31	-	
公務員	32(22+10)	25(15+10)	7	※警察 10月採用者 2名含む
計	91	84	7	

- エアライン学科：2021年度航空業界の求人は激減。入学した年からコロナ禍に突入したため、早い段階で就職志望先を航空業界以外に切り替える学生が多く、紆余曲折を経たものの、それぞれが納得する企業へ就職することとなった。逆に、数少ない求人を狙って、航空業界にこだわり続けた学生もあり、3名が業界就職を果たした(グランドスタッフ職2名、航空貨物1名)。
- ブライダル・ホテル学科：2021年度業界全体の求人は、新卒採用を再開させる企業と絞る企業に反応が分かれた。一方、ここ数年の傾向として、学生の就職志望先が、ブライダルやホテルと言った分かりやすいところだけではなく、カメラマン志望やレストランでの接客、花の販売、美容関係など多岐にわたるようになってきた。本校としても、学生と面談を重ねる中で、最終的には、本人(と保護者の方)が納得するところに進路決定を促している。
- 公務員学科の公務員採用試験合格率は、一次試験で88.2%、最終合格率は85.0%であった。一次試験の合格率は、90%台を切ってしまった一方で、最終合格率は近年で最も良い結果となった。また、一般企業への就職希望者が増えていることから、2021年度は、公務員学科の学生に向けた就職プログラムを年間通して実施した。
- 2021年度は、岡山県警察の10月採用試験で公務員コース1名(+公務員ビジネスコース1年生の学生1名 ※一覧表には含まれていない)、京都府警察の10月採用試験で公務員コース1名が合格を頂き、2021年9月末で退学処理を行った。
- 2021年度より、公務員ビジネスコース2年生が10月採用試験に合格した場合、卒業に必要な単位を取得済、卒業必須資格を取得済であることを条件に、3月まで学籍を残し、本校を卒業したものとする制度がスタート。初年度は3名が該当した。
- 公務員ビジネスコース1年生が採用試験に合格した場合、3月末で進路変更のため退学処理を行ってきたが、2021年度より、1年課程の卒業に必要な単位を取得済、卒業必須資格を取得済であることを条件に、1年課程に編入し、本校を卒業したものとする制度がスタート。初年度は10名が該当した。

3. 学生募集状況について

◇2022年度コース別入学者数一覧(2022年5月1日現在)

コース	出願者数	入学者数
エアライン	8	8
ブライダル・ホテル	17	13
公務員ビジネス	64	53
公務員	33	31
計	122	105

※1名は不合格

- コロナ2年目だった2022年度入学に向けた募集活動は、高校生の動きを終始読み切れず、OCの参加者数を伸ばすことに苦心した。

- エアライン学科は、コロナの影響がもうしばらく続くとしている。その減少分を、ブライダル・ホテル学科及び公務員学科でカバーしていく必要があるが、特にブライダル・ホテル学科については、歩留まり率の改善が必要。

4. その他

- PSA パーソナリティ診断は、学生の性格・気質を判断し、その結果を、学内での指導に活かすのと同時に、学生が自身や他者を理解しやすくなることで、これからの人生をより生きやすくなって欲しいと、長年本校が力を入れている。特に、コロナで、学生の視野や心が一層内向きになり、教員による学生との接し方も今まで以上に配慮が必要と考え、学生にはPSAに関する新しいプログラムを提供、教員には年間通して定期的に研修を実施した。
- 株式会社ウェーブハウス様にご協力を頂いている「ウェーブハウス奨学金制度」について、申請の対象に、入学予定者（高校生）だけでなく、在校生を加えて頂いて2年目を迎えた。2021年度は、入学予定者より2名（ただしうち1名は、公務員採用試験に合格したため本校への入学を辞退）、在校生より6名の申し込みがあった。事前のレポート及びプレゼンテーションによる選考の結果、在校生3名が奨学生の認定を受けた。
 - ※「ウェーブハウス奨学金制度」は、市川社長の「もっと若者のパワーを感じたい、ワクワクするような刺激的で面白いアイデアを出してほしい」というご意向に沿って、2022年度より「ウェーブハウスコンテスト」と名称を変更する。

5. 生涯学習センターについて

生涯学習センターは、リカレント教育を中心とした事業を実施しており、主に岡山県委託訓練及び独立行政法人高齢・障害・求職者支援機構の委託業務を受託している。

- 外部の専門家にご協力いただき、講座の提案・実施を積極的に行っており今後更に社会的に求められるスキルの習得及び実践につながるものを開発・提案を積極的に行っている。2022年度は、中小企業でDXを推進する人材を育成する「デジタル人材育成科」を受託、社会で求められるデジタルスキルの提供を行った。しかし、3ヵ月という訓練期間では、学ぶ時間に限りがある為、今後訓練期間及びコンテンツに関しても提案をしていく予定である。
- 職業訓練の受講生は、ほぼ100%の修了率ではあるが、訓練期間中に就職を決めて退所するほかに、家庭のご都合（介護・育児・家族の病気）で退所する場合もある。更に、最近は精神疾患を抱えている受講生もおり、こういった方については本校だけでなく、公的機関と連携した対応が必要と考えられる。

以上